

### 育成会のさらなる発展を

祈念して

### 法人懇親会開催される!

### 一年間ありがとう

ございました

師走の忙しいひと時を、  
会員・役員・評議員、そして多くのご来賓をお迎えして、KKRホテル大阪で十二月十二日午後六時から開催されました。当日七十七名と多くの参加者があり、本当にありがとうございました。

昨今の社会的・経済的状況を考えますと、障害者自立支援法の見直しや、育成会活動の実施にあたって、多くの課題に直面するところとが予想されます。そういう厳しい中にあっても、私たち親の会は、元気を蓄えて取り組むことが必要です。

### 理事長の挨拶のあと

今回の懇親会は、ちよつと工夫して、進行してみました。まず、はじめに笹野井理事長から、一年間の活動のお礼と大阪市をはじめ関係機関の方々へ謝辞を述べられたあと、会員が心を一つにして、子供たちが安心して暮らせる町にと理事長の熱き思いを訴えられました。

次に大阪市健康福祉局障害福祉企画担当の東一課長から、ご来賓を代表して、行政としても自立支援法の見直しに向けて、この十一月には神戸市、京都市などの五政令市連名での要望書を国に対して提出するなど、積極的に働きかけていることや、情報収集し、育成会活動と連携して施策推進に取り組みたいと頼もしいご挨拶を頂戴しました。

### ちよつと勉強しました

そのあと、新しく理事に就任されたヘレンケラー財団

の西川理事長をはじめご来賓のご紹介の後、例年なら、すぐに懇親会に移りますが、今回は、食事を少しお預けして、当会理事でもあります桃山学院大学の石田教授によるワンポイントレッスン『育成会に期待すること』と題しての講演をお聞きし、心新たに新しい年を迎えることにしました。

講演内容は、テーマにありますように、育成会活動への期待、育成会には多くの人材もいて、しっかりした組織もある。しかしながら一方、各事業展開のマンネリ化や現状維持の状況にきびしい喝!

育成会に今求められるのは、①親なきあとのセイフティネットとしての財産管理を行なう体制作り、②困ったときも楽しいときも何でも話せる、相談できる体制作り。

スタツフの養成。③市民、学生、いろんな人が集まり、ふ

れあう場、出会いの場を作ること。④キャンプやいろいろなことをして、障害者児との心と心のふれあう場をどんどん作ってほしい。等々、育成会に対して、温かい激励をお受けしました。

大阪市では社会福祉協議会と連携して、あんしんサポート事業などを実施していますが、育成会・育成園としてできることは?ふれあいの場、出合いの場として、今年は大阪市の委託を受けて様々なレクレーション事業を行なっていますが、もっと多くの利用者、ボランティア、学生さんの参加を呼びかけたいと思います。

### 最後は笑顔で

その後恒例の懇親に移り、日ごろの疲れを癒し、親睦を深めながら、或いは常日頃の困っていることなど話し合いながら、楽しく和やかな時間を過ごされました。

一年間のご苦労に感謝し

ますと共に、迎える新しい年が飛躍の年となることを誓いあつて散会いたしました。

(常務理事 長田昇一)

### 大阪府共同募金

### 平成二十年度配分金を

賜りました

社会福祉法人大阪府共同募金会様より平成二十年度共同募金配分金を賜りました。

配分金事業は次のとおり完了しました。

- 一、配分金 二六六万円
- 二、配分施設 港第二育成園
- 三、指定使途 門扉二箇所・事務所内パーティション

